**介護支援専門員更新研修・専門研修（課程Ⅱ）**

**提出事例テーマについて**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | テーマ | 例 |
| １ | 脳血管疾患のある方のケアマネジメント | 脳卒中後の退院支援、再発予防や疾患管理、リハビリテーション、環境整備、心理的回復の支援、社会参加の確保、コミュニケーション能力の改善、リスク管理等  例：医療・リハビリ等多職種との連携、生活習慣、内服管理、気温差、不安・抑うつ・障害受容、新たな価値の獲得、転倒予防、栄養確保、活動と参加の促進等に対応した事例 |
| ２ | 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント | 認知症の初期症状に対する支援、認知症の特性を踏まえた対応、薬物療法と非薬物療法、医療職をはじめとした多職種連携、行動・心理症状（BPCD）の予防と重度化防止、ステージアプローチ、意思決定支援、本人と家族を取り巻く環境の理解、自立支援を意識した社会資源の活用等 |
| ３ | 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント | 骨折による生活への影響、生活不活発進行のリスク、ケアマネジメントの留意点（骨折の背景、骨折前の生活の把握等）、再骨折の予防、医療連携、リハビリテーション実施、外出支援、社会参加の回復、多職種協働 等 |
| ４ | 心疾患のある方のケアマネジメント | 急激な悪化及び再入院の予防、フレイル進行の予防、医学的な管理の支援体制（確実な服薬・体重や水分摂取及び排泄状況の管理等）、医療との連携の重要性、専門職との連携体制の構築、本人及び家族の心理的支援、自己管理能力の向上、進行段階に応じたリハビリテーションの実施、併存疾患の管理、医師の指示の範囲内での活動と参加、EOL（エンドオブライフ）の準備、感染症予防 |
| ５ | 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント | 口腔機能・嚥下機能の低下、脳血管疾患やパーキンソン病などの疾患による障害、フレイルの進行、摂食障害や栄養低下、口腔内の不衛生、環境の不備、薬剤の影響、専門職との連携、誤嚥性肺炎の再発の認識等 |
| ６ | 看取り等における看護サービスの活用に関する事例 | 疼痛緩和・トータルペインの理解、生活機能低下における対応、死の受容、意思決定支援、緩和療法、生きがいの実現、看取りにおける家族の役割、家族へのケア、看護サービスとの協働、医療職との連携、終末期のケアマネジメント、グリーフケア等 |
| ７ | 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント | 家族への支援の視点が必要な事例（家族に疾患がある場合、利用者と家族の受け止め方が違う場合、家族が本人の生活機能に強く影響する場合等）  社会資源の活用に向けた関係機関との連携や関連する他法他制度（生活保護制度、成年後見制度、難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー支援関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等）との連携が必要な事例 |